

第1回仙台市子ども読書活動推進計画（第三次）検討委員会 会議録

- 1 開催日 平成28年6月3日（金）
- 2 開会及び
閉会の時刻 午後15時00分開会 午後16時40分閉会
- 3 開催場所 仙台市役所上杉分庁舎2階第1会議室
- 4 出席委員氏名 遠藤仁委員，加茂光孝委員，今野弘子委員，今野広元委員，
坂田邦子委員，佐藤のりみ委員，澤田直美委員，中川美佳委員
- 5 事務局職員 大越教育長，堀田理事，吉田次長，千石生涯学習部長，
大森子育て支援課長，瀧澤総務課長，猪俣教育指導課長，
奥山生涯学習課長，高橋市民図書館副館長，西山生涯学習課企画係長，
泉図書館伊藤主査，総務課企画調整係 佐藤主任，
生涯学習課企画係 横内主任
- 6 会議の次第
 - (1) 委嘱状交付式
 - ①委嘱状交付
 - ②教育長挨拶
 - ③委員紹介
 - (2) 第1回仙台市子ども読書活動推進計画（第三次）検討委員会
 - ①開会
 - ②委員長の選出について
 - ③会議の運営について
 - ④子ども読書活動推進計画（第三次）策定について
 - ⑤その他
 - ⑥閉会
- 7 会議の概要
 - 委員長の選出について
 - ・事務局より，仙台市子ども読書活動推進計画（第三次）検討委員会設置要綱第4条第1項に基づき，委員長の選任がある旨の説明がなされた。
 - ・これについて，委員長を遠藤委員にとの提案がなされ，全委員より承認された。
 - 会議の運営について
 - ・会議は原則公開とし，非公開とすべき内容があった場合にはその都度委員に諮り非公開を決定することとした。
 - ・議事録署名委員は，委員長と，委員の中から五十音順により1名を指名し，計2名とすることとした。

○ 子ども読書活動推進計画（第三次）策定について

- ・事務局より資料に基づき現行計画，第三次計画策定の進め方，関連データについて説明がなされた。以下は委員から述べられた意見。
- ・子どもが本に触れる機会が減ってきており，時間を作っても読みたいという気持ちを持たせるのが難しい状況。教員が読書の必要性を理解し，子どもが本を読む機会を提供することが必要。
- ・授業からの発展学習で，本を読むようなシステムづくりの検討が必要。
- ・学校司書や図書事務員のスキルアップをどうしていくか，授業への関わり方を含めて検討すべき。
- ・家読を推進している学校もあるが，保護者の協力を得るのが難しい場合がある。
- ・児童館では，地域ボランティアや職員による読み聞かせを行っているが，人に本を読んでもらう機会が足りないように感じる。
- ・読み聞かせなどは子どもが読書をするきっかけとなるため，読み聞かせなどを行う人材の育成も必要。
- ・ゲームや漫画も関係する本を読むなど，読書につながることもある。
- ・マスメディアのデジタルコンテンツに慣れている時代の子どもたちに，活字の面白さを知ってもらうことが大切。そのきっかけづくりとしては，学校，図書館だけでなく，家庭での取組みも必要。子どもと一緒に親も本も読むことでそのきっかけづくりになるのではないか。
- ・親も子も本をすぐ手に取れるような環境を整備することが大事。
- ・親が読書活動を促進するようなわかりやすいキャッチフレーズで啓発することも有効ではないか。
- ・保育所で文庫の開放をし，地域への貸出も行っている。親子で一緒に絵本を選ぶことができるということで利用者や貸出冊数も増えている。
- ・子どもにあった本が家庭にない場合もある。家で読書する習慣をつけるためには，家庭における読書環境の整備も大切。家庭の読書環境の整備のためには，親の意識を変えていくことが必要。
- ・大学図書館で同年代の学生の本の感想を掲示した際，紹介された本の貸出が増えた。教員が一方的に本を推薦するよりも，同年代の感想の方が読書をするきっかけとなる。
- ・図書館，学校，家庭がそれぞれ独立して読書活動をしていても成果が上がらない部分がある。今後はどのように連携していくべきかを検討していくことが必要。

次回の会議に向けて，委員は第三次計画に関して事前に事務局へ意見を寄せることとなった。

8 その他 特になし